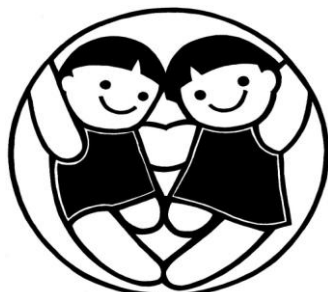


第51回 東京の学童保育研究集会 オンライン開催

子どもの笑顔を真ん中に

～ つながりあって 共につくろう豊かな放課後 ～



東京の学童保育研究集会 (FB) で検索!



開催日：2023年 **6月25日** (日) 9:45～ (入室開始9:15)

参加費：一人 2,500円

開催方法：オンラインビデオ会議アプリの ZOOM を使用

- ※ 1つの端末で複数の方にご受講いただくことは可能です。ただし、代表者がまとめて受講する人数分のお申込みをお願いします。複数で受講される場合はできるだけPC、タブレットでお願いします。
- ※ 安定した受講環境の確保のため、PC、タブレットのインターネットへの接続は、Wi-Fiではなく、LANケーブルを使った有線接続をお勧めします。

申込み締め切り日：6月19日(月) 18:00

※ 〆切日以降のお申込みはできません。

9:15 9:45 12:10 13:00 13:30 16:30

入室 開始	全体会 (基調報告・記念講演ほか)	休 憩	入室 開始	分科会
----------	-------------------	--------	----------	-----

- ◎ 開会挨拶 実行委員長 湯浅周子 (目黒区保護者)
- ◎ 基調報告 東京都学童保育連絡協議会
- ◎ 今、東京では…地域からの報告(世田谷区) / 現場からの報告(学童保育での子どもの姿)
- ◎ 記念講演 **増山 均** さん (早稲田大学名誉教授)

テーマ『今改めて、学童保育とは何かを考える』

～子どもに必要な生活・遊び・権利保障～

主催：東京都学童保育連絡協議会 / 後援：東京都

《記念講演紹介》

- 保護者、特に初めてわが子が小学生になる方が、学童保育に期待することって何でしょうか。「とにかく安全に過ごしてほしい」「勉強も見てほしい。できれば宿題は終えてきてほしい」「友だちと有意義な時間を過ごしてほしい」……。子どもを取り巻く事件の報道も多い中、今、子どもが放課後をどのように過ごすかは、特に働く保護者にとっては心配のものではないでしょうか。
- 首相の年頭会見でも強調して取り上げられるまでになった学童保育ですが、一方で、「#学童落ちた」がSNSでトレンド入りするなど、そもそも量的に不足しているのが現状です。また、保護者としては塾など教育産業を頼る傾向もあり、そのニーズに応えるように、まるで学習塾のような宣伝文句を掲げながら「学童保育」を名乗る施設も増えています。質的な面から、学童保育を捉え直すことも必要な時期に来ていると思います。
- さらに、この間のコロナ禍は、学童保育が果たす役割と重要さを社会に認識させた反面、その重要さに見合わない施策の弱さも浮き彫りにさせました。コロナ後の施策の向上を目指すことについても、社会的な合意としていくことが求められます。
- こんな状況を踏まえて、記念講演は、全国学童保育研究集会で長年、子どもの権利に関する分科会を担当されてきた増山均先生にお願いしました。学童保育の「量的拡大」「質的拡大」とともに大切な、「そもそも学童保育は何を大切にすべきところなのか」「学童保育とは何か」という「理念」を確認できるお話をお願いしています。「子どもの笑顔を真ん中に」しながら、子どもの権利保障という点から、学童保育の意義と役割を捉え直す機会としていただけたらうれしいです！

《増山均さんのプロフィール》

1948年、栃木県宇都宮市生まれ。

専門は社会教育学、社会福祉学。東京教育大学文学部哲学科、東京都立大学人文科学研究科大学院修了。日本福祉大学社会福祉学部教授、早稲田大学第一文学部・第二文学部教授、早稲田大学文学学術院文化構想学部教授を経て、現在、早稲田大学名誉教授。日本学童保育学会代表理事。日本子どもを守る会会長。子どもの権利条約市民・NGOの会共同代表。

[主な著作]

『子ども研究と社会教育』青木書店、1989年5月

『ゆとり・楽しみ・アニメーション - 「子どもの権利条約」をスペインで考えた』旬報社、1994年11月

『教育と福祉のための子ども観—〈市民としての子ども〉と社会参加—』ミネルヴァ書房、1995年5月

『余暇・遊び・文化の権利と子どもの自由世界—子どもの権利条約第三一条論—』青踏社、2004年11月

『子育て支援のフィロソフィア—家庭を地域にひらく子育て・親育て—』自治体研究社、2009年2月

『学童保育と子どもの放課後』新日本出版社、2015年10月

『アニメーションと日本の子育て・教育・文化』本の泉社、2018年2月。

『静かだったら、学校と同じじゃん—学童クラブの窓から—』(共編著)新日本出版社、2019年8月

『鈴木道太研究 教育・福祉・文化を架橋した先駆者』明誠書林、2021年3月

『子どもの尊さと子ども期の保障 コロナに向き合う知恵』新日本出版社、2021年9月

『学童保育を哲学する 子どもに必要な生活・遊び・権利保障』自治体研究社、2022年9月 他



1. <入門講座> 学童保育ってどんなところ！？

<講師> 近藤 浩（世田谷区元指導員）

学童保育は子どもにとってどのような場所なのでしょう。学童保育の目的・役割を確かめ合い、「指導員として働き始めたけれど、子どもや保護者とどのようにかかわっていけばいいのかわからない」「子どもを通わせているが、学童保育がどんなところなのかよくわからない」など、様々な疑問や悩みを保護者と指導員とともに考えてみましょう。

2. <交流> 学童保育の生活づくり

子どもが学童保育を「安心できる毎日の生活の場」として自らすすんで通いつづけられるように子ども・指導員・保護者それぞれが主体者として、学童保育での子どもの生活を考え、つくることが大切です。「生活づくり」とは何か、学童保育の生活をどう組み立てていくのかについて、交流しましょう。

3. <交流> 1人じゃない！保護者と指導員と一緒に子育て

～子どものこと、伝えあっていますか？～

子どもにとっての放課後の豊かな生活は、子ども・保護者・指導員の主体的なかかわりによって作りだされます。保護者と指導員が子どもの様子を伝えあうことの大切さや課題となることについて交流しましょう。

4. <講座と交流> 全国の学童保育施策の現状と課題（情勢）

<講師> 高橋 誠（全国学童保育連絡協議会事務局長）

2023年4月にこども家庭庁が創設されました。東京都では、2022年度より「学童クラブ待機児童対策提案型事業」を創設し、また学童保育の第三者評価の具体的な検討に入ろうとしています。23区では大規模化・「待機児童」、放課後子供教室との「一体化」などさまざまな問題・課題を抱えています。国や東京都の動向から学童保育の課題を明らかにし、より良くするために何が必要なのかを学びます。

5. <交流> 子育てを語ろう

「うちの子落ち着きがなくて、じっとしてられないんだけど大丈夫かしら」「泣いている子を励ましている姿を見て感動した！」「好きなおかずばかり頼張ってしまって…」子どもとの生活は毎日事件の連続ですよね。子育てにマニュアルはありません。子どもは十人十色です。心配なことはたくさんあると思います。でも、嬉しいこともたくさんあるはず。皆さんが抱えている悩みや不安、喜びや学びなど、一緒に語り合いませんか。きっと心がほぐれて、子育てに向き合うことがより楽しくなるかもしれませんよ。

■お申込み方法

6月19日（月）18:00までに、参加費（2500円・1人）を下記の振込先へ入金してください。

1) 個人申込みの場合

- 下記のURLからお申込みください。右のQRコードからも入れます。
- 送信後、申込み内容のコピーがメールで届きます。当日まで削除しないようお願いします。



[申込みフォーム] <https://forms.gle/hhmd51zZ8eTL39>

2) 2名以上で申込みの場合

- 複数の参加者（1つの端末で複数の方が受講される場合を含みます）の申込みに関しては、団体申込用エクセルファイルを、<http://www.toshima.ne.jp/~gakuho/token.html> からダウンロードして、東京都学童保育連絡協議会 to_gakuho_1962@a.toshima.ne.jp へ締切日より前に送信してください。
- メール送信後、3日経過しても申込みを受付けた旨のメールが届かなければ、再度メールでお問い合わせをお願いします。

■振込先

- 郵便振替：00150-9-317500 □座名義 東京都連協
- 銀行振込：ゆうちょ銀行 支店名：019(ゼロイチキュウ)
預金：普通 □座番号：317500
□座名義：東京都連協(トウキョウトレンキョウ)
- 可能であれば、振込人名の後に「0625」と入力して頂けると助かります。
- 振込手数料については個人負担になります。ご了承ください。
- お申込み後のキャンセル及び返金はできません。

■お願い

- 今回の東京の学童保育研究集会は、オンラインビデオ会議アプリのZOOMを使用します。
<https://zoom.nissho-ele.co.jp/blog/manual/zoom-install.html>
などを参考にして、必ず事前にダウンロードしてください。
- 1つの端末で複数の方にご受講いただくことは可能です。
但し、複数で受講される場合はできるだけPC、タブレットでお願いします。
- 本研究集会の資料は6月20日（火）以降、ダウンロードが可能な形でお送りします。
- 全体会と分科会のZOOMのURL、ミーティングID、パスコードもメールでお送りします。

■お問い合わせ先

東京都学童保育連絡協議会 〒170-0004 東京都豊島区北大塚 3-25-11 はまやビル 2階
E-mail to_gakuho_1962@a.toshima.ne.jp
ホームページ <http://www.toshima.ne.jp/~gakuho/index.html>

